

減債基金ってどうして必要なの？



なぜ借金して施設を建てるの？

学校などの公共施設を建てるには、多額のお金が必要です。その年度の予算だけを使った場合、施設は何年も使うのに、建設費の負担は、その時の市民だけになってしまいますし、他の行政サービスに予算が回らなくなるなどの影響が出てしまいます。そのため、借金をして公共施設を建てています。



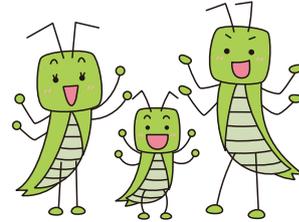
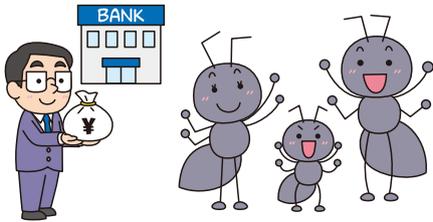
借金を返すために減債基金に貯金しているって聞いたけど、そんな必要あるの？

個人の住宅ローンの場合、借りたお金の一定額を毎月返済しますが、市の借金は最終返済日に全額を返す満期一括償還という方法で借りることがあります。その場合は、毎年度一定額を減債基金に貯めて、最終返済日に備えることが必要です。計画立てて貯めることがどれだけ大切か、下の例で考えてみましょう。

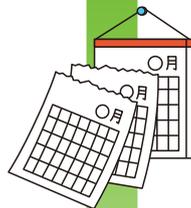
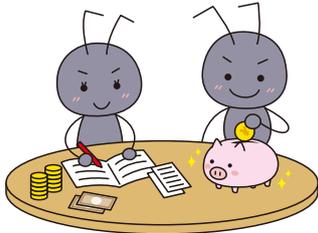


返済計画って大事!!

アリとキリギリスは銀行からお金を借りて、家を建てました
銀行へは、毎月一定額を返す住宅ローンの方法ではなく、30年後に一括で返す約束です

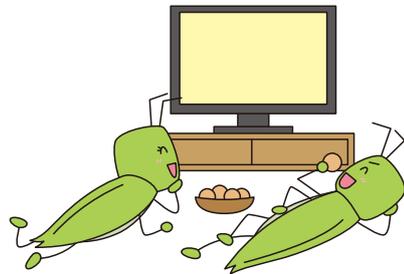


アリは、30年後の一括返済に備えて、住宅ローンのように毎月返す分を貯金することにしました

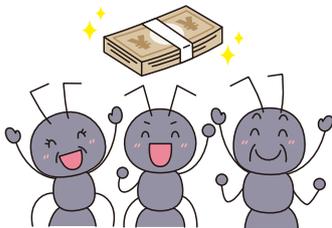


30年後返済する日が
来ました

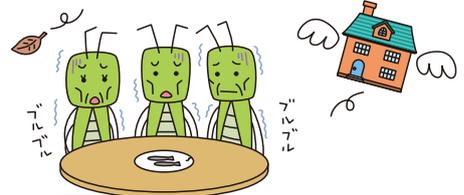
キリギリスは30年も先のことだから、まだ大丈夫と考えています



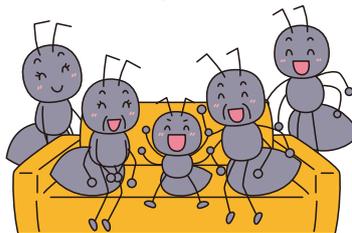
アリは計画通り貯金していたので返済できました



キリギリスは借金を返済できず家にも住めなくなってしまいました
子どもには借金が残り、生活も苦しくなりました



アリの家族は家の修繕も行い、みんなで末長く幸せに暮らしました



返済のために計画を立ててお金をためないと、世代間の負担が不公平になったり、次の世代に負担を先送りすることになってしまいます。計画に基づき、減債基金にお金を積み上げていくことはとても重要です。

